

平成30年度事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人Light Ring.

1 事業の成果

平成30年度は、昨年度同様東京都を主な活動場所として精神疾患の予防を目的とした若年層向けの傾聴プログラムと精神疾患の予防を促進するための講座、若者が身近な支え手としての知識や傾聴技術を身につけるためのソーシャルサポート力養成講座や身近な支え手が寄り添い支援を行う相手の変化について報告する会を展開した。加えて、関係区や民間団体との連携も視野に入れ、若者自殺うつ問題の実態分析および日本全国の若者自殺うつ予防対策を立案するための計画見直し及び事業改善に注力した。地方自治体からの講演や研修にも対応し、全国の若者の実態や実情理解に努めた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 事業費の金額 (千円) |
|---|---|------------------------|-------------------------|--------|--------------------------------|----------------------------------|
| 精神疾患の予防を行う傾聴ボランティアの育成、事業運営 | 傾聴ピアサポーターが39歳以下の男女に対する悩みの傾聴、独自シートによる支援目標達成確認と経過確認を行う。世田谷区「こころスペース事業」事業委託。 | 4月より各3時間／月1回／年間12回 | 世田谷区 | 1名 | 対人関係の悩みを抱えた10代～40代の男女 14人 | 1,231 =20,199,457*6.1% |
| 精神疾患の予防を目的とした社会体験活動（新宿事業） | 区内に日常生活で悩みを受け止める同世代の身近な支え手を広めるため、39歳以下の若者向けのソーシャルサポート力養成および事例検討を行う事業 | 4月より年16回開催 | 新宿区、港区 | 10名 | 新宿区の大学生男女 394名 | 8,564 (=20,199,457*42.4%) |
| 精神疾患の予防のために有用な機会の提供（講演会）（学生・教員・一般市民向け研修・啓発事業）（取材・執筆・会議出席） | 特に10代の学生や養護教諭および生活指導の教員、一般市民向けの自殺うつ予防やこころの健康管理の方法を伝える研修事業 | 4月より年15回 | 東京都、岩手県、鹿児島県、神奈川県、大阪府など | 2名 | 全国の中学校・高校・大学の生徒、教師、企業人（3,793名） | 4,741 (=20,199,457*31.3%*3/4) |
| 精神疾患の予防のために有用な機会の提供（効果指標） | 若者自殺うつ予防事業に参加する若者に心理指標を用いて効果測定を行い、支え手の特徴や変化を研究し学会や論文発表を行う事業 | 4月より新宿事業と同時開催。学会年2回出席。 | 新宿区、港区など | 2名 | 新宿区の大学生男女 394名 | 1,580 (=20,199,457*31.3%*1/4) |